

【3】生徒の実態

指導を展開するにあたり、本年度もさまざまな方法での実態把握に努めた。調査結果から、個人および学部全体の傾向や留意点を探り、指導に生かしていくことにした。また、各実態調査の結果は、指導前と指導後と比較するための基礎資料とするため、できるだけ毎年継続していきたいと考えている。

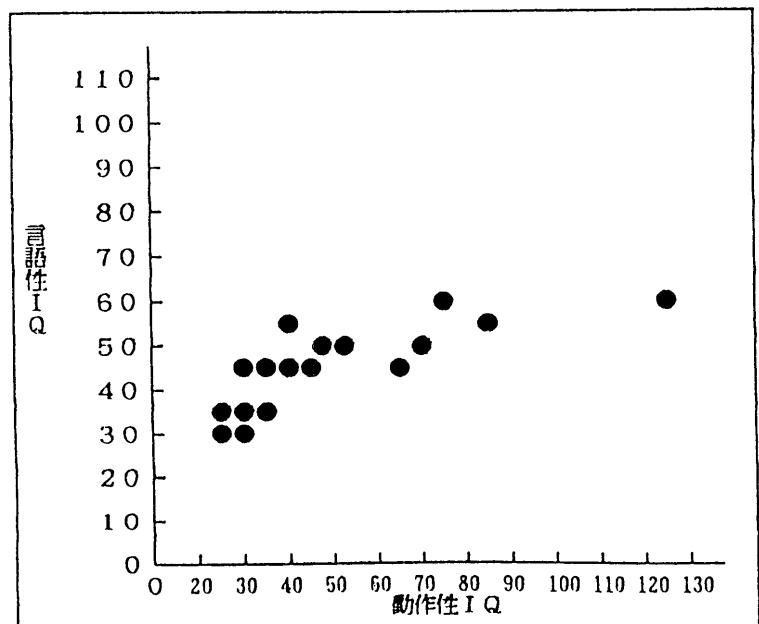
(1) 集団編成

表 - 2 中学部の集団編成

学年	担任		生徒		主な障害	教育歴 及び略号	
	男	女	男	女			
1	1	1	2	4	・ダウン症・水頭症 ・プラウダリー症候群	本校小学部～	S男、K子、K男
	2		6			他校より入学	N子、M子、S子
2	0	2	4	2	・ダウン症・てんかん ・孔脳症・視覚障害 ・ウィリアムス症候群	本校小学部～	M男、W男、N男 E男
	2		6			他校より入学	Y子、O子
3	0	2	5	1	・てんかん・自閉症 ・先天性無汗腺症 ・外胚葉低形成症	本校小学部～	R男、Y男
	2		6			他校より入学	T男、T子、K男 H男

今年度18名の中学部生徒の基礎（学級）集団の編成は、表-2 に示すとおりである。学年進行・複数担任制を取り入れているが、体育・音楽は学部合同で、課題学習は個に応じて課題別、作業学習はコース制（手工芸・陶芸・農園）を取り入れている。また、生活単元学習は単元により学級単位、学部合同、学級を解いた縦割りグループ、と自在に組んでいる。このように、多様な集団を編成することにより、さまざまな関わり方ができるよう配慮している。

表 - 3 言語性IQと、動作性IQの個人内差



(2) WISC-R知能検査 (H 9. 7実施)

〔目的〕生徒の知能や言語性・動作性の個人内差を把握し、指導の手だてや方法を探る。

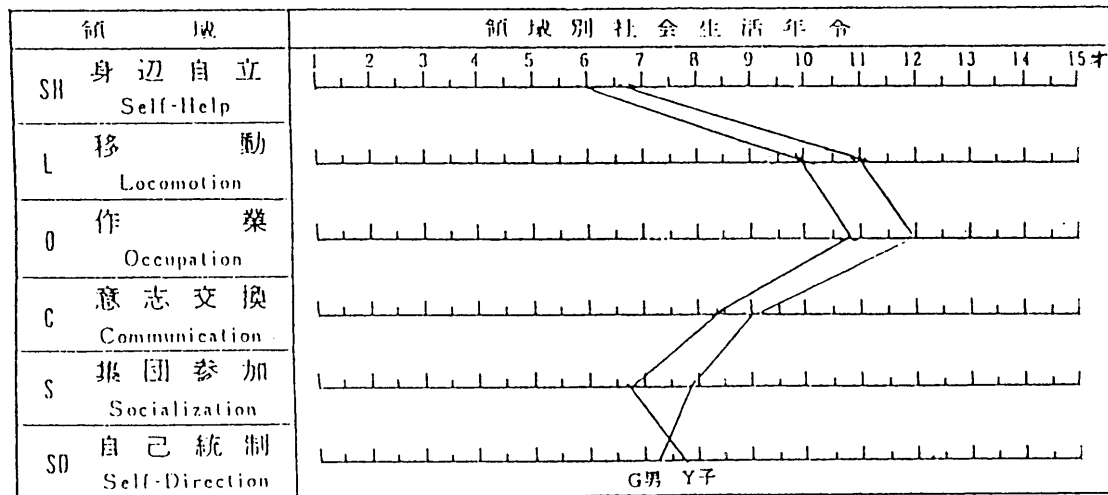
〔考察〕全IQの結果は、IQ40以下で測定不能の生徒は 8名、IQ41～49は 4名50～69は 4名70以上は 1名と、重度から軽度まで差が大きく、ばらつきがある。

言語性IQと動作性IQの個人内差を見ると、前ページの図のように、15以上のIQの差がある生徒が 4名おり、前ページの図のように1名を除き、言語性より動作性のIQが優位となっている。バランスのとれた成長を図るためには、言語環境を整え、人と関わって活動する場の設定が必要である。

(3) S-M社会生活能力検査 (H 9. 7実施)

〔目的〕具体的な生活場面における知的な働きや技能の程度を知り、生徒の社会的な生活能力を把握する。以下の図は、本校の中に多く見られるパターンを例として示した。

表-4 領域別社会生活年齢



〔考察〕ひとりひとりの社会生活年齢 (SA) については、3歳11か月～4歳未満が 1名 5歳～8歳未満が 6名、8歳～10歳未満が 9名である。

全体的に見ると、上学年には各領域の能力、特に移動能力・作業能力等比較的高い生徒が多く、学年が下がるに従って低い傾向にある。

個々に見ていくと、M男の場合、作業の領域は低くても、集団参加・自己統制の領域においては高く、社会生活年齢は 8歳 9か月であるが、知能検査の全IQにおいては、45であり、それほど高くはない。知的な面での遅れを本人の意欲や生活経験でカバーしながら社会生活能力を身につけてきていると考えられる。また、上図にみられるように、Y子・G男のように移動・作業の領域はかなり高いが、身辺自立・集団参加・自己統制の領域で低い傾向にある。家庭との連携を図りながら自分でできることは自分でするとか、我慢しなければならないときは我慢するように指導をしていくことなどを基本にすえながら、さらに社会生活能力を育てていきたい。

(井上早苗)

(4) 基礎学力における実態

基本的な読み、書き、計算等の力を付けることは、現在や将来の生徒の生活にとって基盤となる大切な要素である。中学部では、毎年、学級担任によって基礎学力の実態把握を行い、それを学部全体で共通理解して指導に取り組むことで、クラス学習のみならず合同学習においても生徒個々の学力の向上を図っていこうと考えている。

特に課題学習の時間には、基礎学力の実態と養護・訓練の実態を含めた中から、その生徒にとっての最優先課題を選び、毎日継続して取り組むなかで課題の克服や力の向上をねらっている。

以下の表は中学部18人のうち、自分づくりの段階を追って、特徴的な例を取り上げてその基礎学力の実態を提示する。

表-5 基礎学力（国語・数学）の実態例

名前	国語		数学	
	言語・文字の修得	理解・表現(討論)	数と計算	お金・時計
T男	<ul style="list-style-type: none"> 小4程度の漢字の読み書きができる。 比較的丁寧に書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 順序立てて話そうとするが、話が飛びやすい。 理由を入れて説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 4位数までの加減ができる。 1位数の除法、2位数の乗法ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 分針まで読め、あと何分の計算ができる。 お金の概算はいい加減になる。
R男	<ul style="list-style-type: none"> ひらがなの読み書きができない 視写はできるが読めない。 	<ul style="list-style-type: none"> 発音不明 助詞を使わず、単語の羅列が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 1位数の加減はできる。 4位数の簡単な数が読める。 	<ul style="list-style-type: none"> 金種が分かり買える物ができる。 分針が読め、あと何分も分かる。
T子	<ul style="list-style-type: none"> 小1程度の漢字の読み書きができる。 思ったことが文にかける。 	<ul style="list-style-type: none"> 順序立てて説明するのは少し難しい。ふざけた話し方、返事をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 1位数の加減はできる。 	<ul style="list-style-type: none"> 金種は分かるが計算はできない 分針が読め、あと何分も分かる。
H男	<ul style="list-style-type: none"> 小2程度の漢字の読み書きができる。 気持ちを素直に文章にできる。 	<ul style="list-style-type: none"> 理由を入れたり順序立てたりして、詳しく説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 4位数の加法はできるが、減法はミスが多い。 1位数の乗除法ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 分針まで読め、あと何分の計算もできる。 金種は分かるが概算は難しい。
Y男	<ul style="list-style-type: none"> 絵と文字の対応はできる。 なぞりがきのはみ出しが少なくなりつつある。 	<ul style="list-style-type: none"> 思っていることを素直に日常会話で話すこともある。 	<ul style="list-style-type: none"> 口真似をして、数唱することができる。 一対一対応はできる。 	(把握困難)
G男	<ul style="list-style-type: none"> 小4程度の漢字の読み書きができる。 生活の中の文字言葉が正しく使える。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の思いを一方的に表現することが多く、分かりにくい。 表現力はある。 	<ul style="list-style-type: none"> 4位数の繰り上がり、繰り下がりにミスがある 1位数の乗除法ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 分針まで読め、あと何分の計算もできる。 お釣りの計算ができる。

W男	<ul style="list-style-type: none"> 平仮名の視写が少しずつできだし、形ははっきりしないもののそれらしく平仮名を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 気持ちが集中せず、話を聞いていなかったり、見当はずれの発言をしたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 30までの数唱ができる。 読字は10以上の数字だとあいまいになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 金種の区別が不正確である。 何時か問うと時計を見るが読めない。
Y子	<ul style="list-style-type: none"> 小1～2年程度の漢字をまじえて作文ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 人前での発表を嫌がり小声になる。 	<ul style="list-style-type: none"> 練り上がり、練り下がりのない2位数の加法、減法ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 時計は分針までだいたい読める。
N男	<ul style="list-style-type: none"> 平仮名50音と身近な漢字、片仮名が読める。 	<ul style="list-style-type: none"> 簡単な報告や伝言ができる。 内容が多くなると混乱する。 	<ul style="list-style-type: none"> 100までの数を数え、読み書きできる。 	<ul style="list-style-type: none"> 時刻は不確か 100円、10円、1円、1000円の金種は分かる。
S男	<ul style="list-style-type: none"> 丁寧ではないが1年程度の漢字混じりの文の読み書きができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 簡単な言葉や文で表現することができるが、相手の言うことを理解できないことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 車のナンバーなどに興味があり数の読み書き、ごく簡単な加減ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 金種はある程度分かるが使いこなせない。 時計もほぼ読めるが生活に生かせない。

(井崎典子)

(5) 自分づくりの発達段階表

S-M社会生活能力検査やWISC-R知能検査の結果を基に、観察による調整を加えて作成したのが、次の表-6「自分づくりの発達段階表」である。

〈考察〉

自我の拡大・充実期 2名、自制心の芽生えから形成期 9名、自己客観視の芽生えの時期が 6名、自己客観視の段階の生徒が 1名と個人差が大きいですが、自制心の芽生えから形成期の生徒がほとんどである。

これまでの様々な生活経験や指導の積み重ねにより、SA（社会生活年齢）はかなり高くなっている生徒が多い。それと比較して、自分を見つめ、自我をコントロールしたり、自分と違う他者を意識して、自分の言動を見直したりするという「自分づくり」の視点から見ると、かなり低い段階にとどまっている場合がほとんどである。

したがって、中学部のテーマ「自分なりのめあてを持って、自らの活動を楽しむ子」のもと、生徒が様々な活動を通して、自分なりの理由を持ち、自分なりに考えてめあてを決めること、それに向かって試行錯誤しながらも、できるだけ主体的に取り組むことができるように、我々教師は場を設定したり、支援を考え工夫したりしていかなければならないと考える。その際、中学生という生活年齢も加味して、大人に近づいている存在として対応し、生徒集団の中でのねらいを持って、集団による関わり合い、練り合いを大切にしながら、それぞれの段階に応じた支援を工夫していく必要がある。

(鹿田祐子)

表-6 《自分づくりの発達段階表》「自分なりのめあてを持って、自らの活動を楽しむ子」の姿をめざして

自分づくりの段階	生徒名			めざす楽しんでいる姿	集団の中で のねらい
	1年	2年	3年		
<p>・自己を表現 (9歳～)</p> <p>※多面的に自分を見る ※大人扱いが当然</p>			T男 (9-3, 06)	<p>・得意なこと、苦手なことを自分で判断して選択し、役頭して取り組む。(熟申する)</p> <p>・好きなことを通して、より多くの人や場所での関わりや活動を楽しむ。</p>	<p>手本になる相手をめざして自分を高める。</p>
<p>・自己を表現のめばえ (5歳後半)</p> <p>・自分づくりの始まり ※他律的、一面的に自分をとらえる ※大人らしくなくなる</p>			R男 (8-9, 54) H男 (8-6, 64) M男 (8-9, 45) Y子 (8-0, 55) G男 (8-6, 47)	<p>・経験をもとに、よりよい方法や新しいことを考えたりして、言いかもしれないがやってみようとする。</p> <p>・仲間のことや考え、自分の欲求を押しえたり譲ったりして、みんなで一緒に楽しもうとする。</p>	<p>友達や周りの人と活動をする中で、自己評価して満足感を楽しむ。</p>
<p>・自制心の形成 (5歳半)</p> <p>・自制心の芽ばえ</p>	<p>・「～だけ～しよう」と自分で理由づけをして行動する</p> <p>・自分なりの理由を言うことができる。</p> <p>・自分のペースで、見通しを持って、最後までやり遂げようとする。</p> <p>・できるだけ自分でやろうとし、困ったら次の手立てを考えられることができる。</p> <p>・活動の意義等を知り、意欲と責任を持つ。</p> <p>※自分をコントロールできるもう一人の自分 ※大人になりたい</p>		T子 (8-1, 51) O子 (7-8, 41) N子 (8-6, 40以下) E男 (5-1, 40以下) S子 (7-2, 47) K男(6-1, 40以下) K子(5-5, 40以下)	<p>・経験をもとに、楽しかったことややってみたい(挑戦してみたい)ことが言える。(順序、理由等が自分に説明できる)～同じことでもよい～</p> <p>・自分なりに考えて決めためあてを持ち、できるだけ近づこうと精一杯励む。(結果は問わない)</p> <p>・失敗しても、くじけないで「またやろう」「もう一度やってみよう」としたり、「今度はこうしてみよう」と自分なりに工夫をしたりする。</p> <p>・本物にふれる楽しさや喜びを知る。</p>	<p>友達や周りの人と活動を共有して共感した手応えを楽しむ。</p>
<p>・自我の拡大・充実 (3歳半)</p> <p>・自我の誕生 (1歳半)</p>	<p>・もう一人の自分ではじめ ※大人扱いを受け止める</p> <p>・感情・意欲の育ち</p>		W男 (5-6, 40以下) S男 (5-7, 40以下)	<p>・自分の思いを伝えて分かってもらうことに満足する。</p> <p>・思い切り自由に活動するおもしろさを知る。</p> <p>・少しでもルールを分かって守ろうとし、集団の中の活動を楽しむ。</p>	<p>友達や周りの人といること自体を楽しむ。</p>
<p>・自我の誕生 (1歳半)</p>	<p>・「～だ」という自分の思いを伝えて、集団の中でも行動する。</p> <p>・模倣する。</p> <p>・模倣してその活動自体を楽しむ。</p> <p>・結果を知って喜んだり、残念がったりする。</p>				<p>人の真似をして楽しむ。</p>

※()内の数値は左がS A (S-M社会生活能力発達による)右がIQ (WISC-R)

生徒の楽しんでいる姿 ～生徒へのアンケート結果より～
()内の数字は人数を示す。

(音楽)

1. 音楽は好きですか？

<はい> 16名

○主な理由

- | | |
|-------------------|--------------------|
| ・歌をうたうのが好きだから(7) | ・楽器で演奏するのが楽しいから(3) |
| ・カラオケが好きだから(3) | ・音楽を聴くことが好きだから(1) |
| ・ピアノを吹くのが楽しいから(2) | |

<いいえ> 2名

○主な理由

- | | |
|----------------|------------------|
| ・あまり好きでないから(1) | ・歌をうたうとのが痛いから(1) |
|----------------|------------------|

2. 音楽科の学習の中で何が楽しいですか？

- | | | |
|-----------|-------------|----------|
| ・カラオケ(10) | ・楽器を演奏する(5) | ・歌を作る(2) |
| ・歌をうたう(7) | ・音楽を聴く(5) | |

(体育)

1. 体育は好きですか？

<はい> 16名

○主な理由

- | | |
|-----------------|------------------|
| ・ボール運動が好きだから(4) | ・運動が好きだから(4) |
| ・ダンスが好きだから(2) | ・いろいろな運動をするから(2) |
| ・水泳が楽しいから(1) | ・走るが好きだから(1) |
| ・体を動かすから(1) | ・楽しいから(1)(1) |

<いいえ> 2名

○主な理由

- | | |
|------------|-------------------|
| ・汗をかくから(1) | ・ぶら下がりが好きでないから(1) |
|------------|-------------------|

2. 体育科の学習の中で何が楽しいですか？

- | | | |
|-------------------------------------|---------|--------|
| ・サーキット(4) | ・ダンス(4) | ・水泳(3) |
| ・ボール運動(5) (バスケットボール、サッカー、キックベースボール) | | |
| ・走る(1) (リレー、持久走、短距離走) | | |

表-7

音楽で楽しんでいる姿

名前	学年	楽しんでいる姿
S男	1年	・打楽器や鍵盤ハーモニカなどの演奏が好きで、リズムカルに演奏する。 ・自分の知っている歌をカラオケで楽しそうにうたう。
N子	1年	・ピアノや鍵盤ハーモニカなどを弾くことが好きで、自分なりに弾き語りをする。 ・歌詞やリズムを覚えると大きな声でうたい、リズムに合わせて体を動かす。
K子	1年	・音楽を聴くことが好きで、体を揺らして楽しむ。 ・文字が読めず歌詞がなかなか覚えれないが、覚えた部分は喜んでうたおうとする。
M子	1年	・音楽の時間はもちろん、休憩時間にも自分で小学校時代の本を持ってきて、友だちを誘って一緒にうたったり、オルガンを弾いたりする。
K男	1年	・打楽器や鍵盤ハーモニカなどの演奏が好きで、休憩時間に演奏することがある。 ・自分の好きな歌を、とても明るい表情で楽しそうにうたうことがある。
S子	1年	・どんな曲にも興味を持ち、楽しんでうたったり、演奏したりする。 ・友だちに誘われ、一緒にうたって楽しむことがある。
M男	2年	・学部の歌の作詞を楽しんでし、一生懸命言葉を見つけていた。 ・明るい表情で歌をうたう。歌詞を覚えると大きな声でうたう。
W男	2年	・口を大きく開けて楽しそうにうたい、校歌やきなんせ節をみんなの前でうたう。 ・たくさんの歌を知っており、口ずさんだり、カラオケでうたおうとしたりする。
Y子	2年	・楽器の演奏が得意で、特に鍵盤ハーモニカは正確に演奏できる。 ・カラオケが好きで、歌いたい歌を進んで教師に教え、楽しんでうたう。
N男	2年	・「きなんせ節」や「TOMORROW」の曲に振り付けをし、踊りながらうたう。 ・ピアノを弾きながら好きな歌をうたって楽しんでいる。
E男	2年	・好きな歌をうたうときは笑顔でうたう。 ・マラカスなどの打楽器の演奏には進んで取り組む。
O子	2年	・口を大きく開け、体を揺らしながらリズムにのって楽しそうにうたう。 ・鍵盤ハーモニカの演奏を正確に楽しんでいる。
T男	3年	・好きな歌手や曲があり、休憩時間や家庭で音楽を聴いて楽しんでいる。 ・カラオケが好きで、選曲の時はうたいたい歌を楽しそうに選んでいる。
R男	3年	・学校で習った曲はほとんど覚え、カラオケで進んでうたう。 ・いろいろな楽器の演奏に挑戦しようとする。
T子	3年	・覚えた歌や一部だけ知っている歌は大きな声で張り切ってうたう。 ・楽器の演奏の練習で、できなかったことができるようになって嬉しそうだった。
H男	3年	・歌をうたったり、楽器を演奏したりすることが正確にできる。 ・友だちに誘われて、休憩時間などに音楽を聴いている。
Y男	3年	・友だちと一緒に知っている歌を部分的にうたったり、楽器を演奏したりする。 ・自分の得意な曲を大きな声でカラオケでうたい、とても嬉しそうな表情をする。
G男	3年	・自分で作曲した曲をピアノで弾いたり、替え歌を作ったりして楽しんでいる。 ・簡単な曲ならすぐに覚え、鍵盤楽器で演奏する。

表-8

体育で楽しんでいる姿

名前	学年	楽しんでいる姿
S男	1年	・どんなことにもマイペースで参加し、頑張りが認められると嬉しそうにする。 ・ゲームや応援に参加し、その雰囲気を楽しんでいる。
N子	1年	・勝敗が分かり、競争場面では自分なりに頑張ったり、応援したりする。 ・水泳では、自分の泳力が友だちや教師から認められ、とても喜んでいて。
K子	1年	・マラソンではペースを示してもらおうとついて走り、頑張りを認められて喜ぶ。 ・ゲームなどは繰り返すことでやり方が分かり、楽しんで参加する。
M子	1年	・勝敗が分かり、自分なりに技術の向上をねらって頑張り、誉められると喜ぶ。 ・水泳では、生き生きと泳ぎ、友だちや教師から認められて喜んでいて。
K男	1年	・勝敗が分かり、競争場面での頑張りを認められたり、勝ったりすると喜ぶ。 ・リズムの時間は、自由に体を動かして楽しんでいる。
S子	1年	・勝敗が分かり、同じチームの友だちを応援し、自分なりに頑張っていて楽しむ。 ・音楽に合わせて体を動かすことを好む。
M男	2年	・マラソンではタイムの向上や1位を目指して力一杯走った。 ・球技は大好きで、いつも生活の中に取り入れ、休憩時間もボールで遊んでいる。
W男	2年	・バスケットボールをしている友だちの姿を楽しそうに見て、参加している。 ・知っている曲に合わせて体を動かすことを楽しんでいる。
Y子	2年	・運動は嫌いという意識があり、あまり意欲が見られないが、笑顔は見られる。 ・バドミントンやバスケットボールなどルールのある球技を好み、楽しんでいる。
N男	2年	・室内ホッケーやキャッチボール楽しみ、特に大人が相手だと喜ぶ。 ・ダンスが好きで、自分で動きを考えたり、模倣を楽しんだりしている。
E男	2年	・競争心があり、マラソンや球技ではやる気を見せ、やり遂げた時は喜んでいて。 ・リズムの時間に創作のアイデアが出せた。
O子	2年	・運動をおっくうがるが、いったんやり始めると目標の達成を求めて頑張る。 ・完走できたことを教師に知らせ、その頑張りを認めてもらい喜んでいて。
T男	3年	・うまくできたことを認められ、それを人前ですることに喜びを感じている。 ・マラソンの記録の更新に努力し、校外のマラソン大会にも進んで参加する。
R男	3年	・水泳で泳げる距離が伸びて大変喜び、好きなスポーツの一つとなった。 ・チームの友だちと協力してゲームをし、自分のチームが勝つようリードする。
T子	3年	・ダンスでは模倣をしながらも、ジャンプの所を大きく跳ぶ工夫をして踊った。 ・水泳が得意で、友だちに勝ったり、記録が伸びたりすると大変喜び。
H男	3年	・友だちと一緒にゲームをし、何にでも一生懸命熱中する。 ・校外のマラソン大会にも進んで参加する。
Y男	3年	・友だちと一緒に、ゲームやボール運動をしようとする。 ・リズム運動では、模倣して同じように体を動かそうとする。
G男	3年	・ゲームに勝ったり記録を更新したりするために努力し、それがかなうと喜ぶ。 ・校外のマラソン大会にも進んで参加する。

表-9

「書く」力の実態と楽しめること

名前	学年	書くことについての生徒の実態	楽しめること
S男	1年	・書き順はばらばらだが、簡単な漢字混じりの文を書くことができ、作文ではできごとや感じたことを書くことができる。	・読書 ・日記、作文
N子	1年	・書くことにはやや抵抗があるが、平仮名で日記や作文を書くことができる。書き落としや書き誤りがある。	・読書 ・日記、手紙
K子	1年	・平仮名を一音ずつ聞きながら書くことができる。視写であれば片仮名や簡単な漢字混じり文を書くことができる。	・読み聞かせ
M子	1年	・書くことが好きで、日記や行事後の作文などを一人で書くことができるが、表記上の誤りがあることがある。	・読書 ・日記、手紙
K男	1年	・書くことは好きで、国語の教科書などの視写をしている。しかし、自分の気持ちはなかなか書き表せない。	・読書 ・日記、作文
S子	1年	・書くことが好きで、日記、作文など一人でかなり詳しく書くことができる。	・読書 ・日記、作文
M男	2年	・自分がしたことは書けるが、思ったことを詳しく文に書くことができない。	・日記、作文
W男	2年	・平仮名を正確に覚えていないために、本人は書いたつもりでもそのことが読み手に通じない。	・日記（言葉の羅列）
Y子	2年	・平仮名、片仮名、小2程度の漢字を使って文を書くが、覚え間違えている語句が多く、表記の間違いがかなりある。	・手紙
N男	2年	・平仮名と生活でよく使う片仮名、漢字の一部が使える。5文程度ならばあったことを中心に作文できる。	・漢字練習 ・メモ書き
E男	2年	・平仮名、片仮名、小1程度の漢字を使って文を書く。視写を好み丁寧に書くが、時間がかかる。	・手紙
O子	2年	・自分の思いを自分らしい表現で書くことはできるが、文の内容を構成して書くことはできない。	・日記
T男	3年	・漢字を使って書き、文の大体の形はできているが、文を構成して書くことができない。パターン化された表現が多い。	・手紙・読書 ・ワープロ
R男	3年	・語彙が乏しく（言葉を知らない）思ったことや感じたことが言えない。口頭作文では、したことを順序だてて言える。	・視写
T子	3年	・自分らしい表現で思ったことをどんどん書けるが、思いつきで書くことが多く、同じ内容が何度も出てくることがある。	・文集を読む ・日記
H男	3年	・自分らしい表現で自分の思ったこと、したことを順序立てて書くことができる。	・日記 ・作文
Y男	3年	・なぞって書けるが、順序はばらばらである。教師の問いかけにうなずいたり、返事をしたりできる。	・なぞり書き ・自由に書く
G男	3年	・文体はできていて、言いたいことが大体表現できる。内容を簡単にまとめてしまいがちである。	・漢字の使用 ・個人新聞